

# 道徳科の授業づくり さらなる質の向上を目指して!

新潟市教育委員会学校支援課

教科化に伴い、各校において「特別の教科 道徳」の授業づくりに取り組んでいただいていることと思います。さらに各校の授業の質が高まり、子どもたちの道徳性が育つように、授業づくりのポイントを2つ示します。(展開例を裏ページに示しています。)



**ポイント①**

## 学習課題に対する問題意識を高め、 子どもが主体的に考える授業にしましょう!

学習課題の設定について、各校の実践では、主に次の2つの方法で行われています。

- ① 教材提示の前に、学習課題を設定する方法〔展開例A〕
- ② 教材から子どもの問題意識を促して学習課題につなげる方法〔展開例B〕

学習課題を設定する方法①、②には、それぞれによさと問題点があります。考えられる改善策を含め、下に示します。

	① 教材提示の前に設定する方法	② 教材から問題意識を促してつなげる方法
よさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいに直結した学習課題を設定できる</li> <li>・短時間で設定できるため、話し合い等の時間を確保しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが問題意識をもって、主体的に課題の追求活動に取り組む</li> </ul>
問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学習課題に対する問題意識を高めにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階に学習課題を設定できない(新潟市の授業づくりフレームワークに合わない)</li> <li>・話し合い等の時間が確保しづらい(設定までに時間を要するため)</li> </ul>
問題点の改善策	<p>(学習課題を提示する前に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○画像や作文等により生活場面での問題点を示す</li> <li>○アンケート等のデータや新聞等の情報を提示する</li> <li>○成功・失敗等の経験を想起させる働き掛けを行う</li> </ul> <p>ポイント1の①〔展開例AのT2 参照〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業者の構想に合わせて学習課題の設定位置を考える(道徳科では早い段階で設定しなくともよい)</li> <li>○学習課題設定までの時間短縮の工夫を行う                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・即、教材提示から授業に入る</li> <li>・教材の状況把握を授業者主導で行う など</li> </ul> </li> </ul> <p>ポイント1の②〔展開例BのT1、T4 参照〕</p>

**ポイント②**

## 道徳的価値について話し合う活動を設定して、 子どもが道徳的価値の理解を深める授業にしましょう!

道徳科の授業で欠かせないことは、「道徳的価値の理解を深める」ことです。しかし、計画訪問等における実践の中には、行為についての話し合いが主となり、道徳的価値の理解を深める手立てが欠ける授業が見られます。このことを解消するには、「道徳的価値の理解を深める」ということを、どのようにとらえたらよいかを考える必要があります。市教委では、次のように考えています。

道徳的価値の大切さや意義について「頭の中で(観念的に)知っている段階」から  
本当に大切なことなんだ!と(実感を伴って)理解する段階」に深めること

この「本当に大切なことなんだ!と(実感を伴って)理解する段階」まで深めるには、次の2点が大切です。

**① 道徳的価値(の大切さ、本質、意義等)について話し合う活動を設定する**

教材の問題場面を基に、次のような働き掛けを行い、話し合う活動を設定する

〔価値の大切さを問う働き掛けの例〕  
「どうして相手を許すことが大切なのかな?」「なぜ自然を守ることが大切なのかな?」

〔価値の本質を問う働き掛けの例〕  
「本当の友情とはどういうことかな?」「それって本当の思いやりって言えるのかな?」

〔価値の意義を問う働き掛けの例〕  
「なぜきまりがあるのかな?」「なぜ伝統を大切にしなければならないのかな?」

ポイント2の①〔展開例AのT4・T6、展開例BのT8 参照〕

**② ①の話し合う活動において、実感を伴う理解を促す手立てを講じる**

子どもに次のような「見方・考え方」を促す働き掛けを行う

- 価値の実現は難しいという人間の弱さを理解したうえで考える
- 価値に関して似たような経験やその時の考え方、気持ちを想起して考える
- 価値にかかわる他者から出てくる様々な立場や観点からの考えを理解しようとするとともに、納得できる考えを見いだす

ポイント2の②〔展開例AのT1・T4・T6、展開例BのT3・T8 参照〕



話し合いを通して、子どもたちが納得し合えたことを授業者が引き出し、「まとめ」につなげます。さらに、「まとめ」または「振り返り」で、学んだことに対する自分の考えを明確にさせます。

具体的な解決策を考える「問題解決的な学習」を採り入れる場合は、次のことに留意します。

※必ず採り入れなければならないということではありません

- 解決策については全体で一つにまとめることはしない。個々の納得解をもたせる。
- 解決策を出させることを目的としない。判断する力を高めること、さらなる道徳的価値の深まりを目指すこと、実践意欲を高めることを目的とする。



# ポイント1、2を重視した、教材『足袋の季節』(光村図書3年生)による授業展開例

この展開例は、指導方法を伝えることを目的としていません。前ページで示したポイント1、2に関して伝えることを中心とした例です。教材や子どもの実態、授業者の指導観に合うように、多様な指導方法や働き掛け(教材の提示方法<一括・分割・再現構成法等>、発問・指示等)を工夫してください。

※教材提示の前に学習課題を設定する場合は、導入で、学習課題に対する問題意識を高めるための働き掛けを行います。本展開例では、T1、T2で、教材の内容にかかわるうそやごまかしをして後悔した経験を想起させ、人間の弱さの理解を図るとともに、そのこととどう向き合ったらよいかという問題意識を高める働き掛けを行っています。多様な働き掛けが考えられます。どのような働き掛けが効果があるかを考え、工夫する必要があります。

※生徒が教材から感じ取った問題を、ねらいに迫る学習課題につなげていくための働き掛けを行います。本展開例では、T3、T4で人間の弱さの理解を図った上で、後悔している状況で考えることに焦点を当て、ねらいに向けた問題意識を高めようとしています。多様な働き掛けが考えられます。どのような働き掛けが効果があるかを考え、工夫する必要があります。

## 展開例A 教材提示前に学習課題を設定し、道徳的価値の理解を深める授業展開例

導入 (8分)	T1 うそをついたりごまかししたりして、その場合は乗り切れたが、その後、そのことが気になって(後悔して)胸が苦しくなるような経験をしたことはありませんか。(2分) *自分の経験を想起させた後に、そういった経験の有無を聞くだけにとどめ、具体的な経験を引き出すことはしない。	ポイント2の② 経験を想起させることを通して、人間には弱さがあることの理解を図る。
	T2 後悔で胸が苦しく感じるのは、良心に背いたからですね。そんな時ってどんなことを考えてますか。(3分) S1 ・後悔する経験を忘れ去りたい。 ・過去に戻ることはできない。どうしたらいいのだろう。	ポイント1の① 良心に背くことから来る後悔を理解させるとともに、それとどう向き合っていくかについての問題意識を醸成する。
展開 (37分)	T3 (後悔の気持ちを取り除くことが難しいことを確認した上で)今日はこのことについてみんなで考えていきましょう。(3分) <b>学習課題：良心に背いた行為をした後、どのように生きていけばよいのだろうか。</b>	
	T4 (教科書を一括提示して、「私」の置かれている生活環境の厳しさやそれ故に人間の弱さに打ち勝てずに、おばあさんをごまかしたことを生徒との対話で確認した上で)「私」がおばあさんを訪ねたのは、どんな思いからだと考えますか。(14分 教材提示を含む)	ポイント2の① 行為選択の根拠について話し合う活動を通して道徳的価値に着目させる。
	S2 ・自分の気持ちを楽にしたい。<自分・自主> ・おばあさんに謝罪したい。<自分・誠実> ・おばあさんに感謝の気持ちを伝えたい。<相手・感謝> ・だましてとったお金を返したい。<社会・遵法精神>	ポイント2の② 役割演技を通して、気持ちを考えさせる方法も効果的である。(T4')
	[T4'] もし、おばあさんに「私」が再会できていたら、おばあさんにどんな思いをもって、どんな言葉をかけただろう。実際に演じてみましょう。(14分)]	
	T5 「私」が、おばあさんに会おうと決心した気持ちを理解できますか。(3分) *「私」の決心に共感する生徒の存在を確認した後に、人は自分の弱さを後悔するだけでなく、乗り越えたいという強い心を兼ね備えていることをおさえる。	ポイント2の① 道徳的価値の意義に着目させる話し合う活動を設定する。
	T6 おばあさんに会えず、後悔の念を深くするばかりの「私」が、「おばあさんが私にくれた心を、今度は、私が誰かに差し上げなければならない」と思うようにしたことで、これからの生活にどのような影響を与えたいと思いますか。(15分) (グループで話し合った後、全体でシェアする)	ポイント2の② 考えの違いを整理して、道徳的価値のよさを多面的・多角的に理解できるようにする。
S3 ・後悔の気持ちが薄れ、希望がもてる。<自分・向上心> ・おばあさんへの償いができる喜び。<相手・信頼> ・社会に役立てる喜び。<社会・公共>		
T7 (S3に含まれている道徳的価値の意義を確認した上で)どのように生きていくことがよいのだろうか。(5分) *数名の生徒に発表させ、その中に含まれる内容を取り出して教師が「まとめ」につなげる。 <b>まとめ：いつまでも後悔するのではなく、前向きに生きていけるよう行動する。</b>		
終末 (5分)	T8 今日の学習を通して気付いたことや考えたことを書きましょう。(5分) S4 後悔を消し去りたいと思うことは誰にでもあると思う。大切なことは後悔を消し去るために行動することだということを強く感じた。そのことで、その後の気持ちの持ち方が全然違ってくると思う。	

## 展開例B 教材から生まれた子どもの問題意識を基に学習課題を設定し、解決策を考えさせることを通して道徳的価値の理解を深める授業展開例

導入 (5分)	(教材を試験に合格する前とその後2分割する。) T1 昔の冬の様子を想像させ教材への導入を図った上で、教材の前半部分を範読する。(3分) T2 何が問題ですか。(2分) S1 ・「私」がごまかしてお金を受け取ったこと、「私」がおばあさんに会わないようにしていたこと	ポイント1の② 生徒自身に教材の中にある道徳的問題を把握させる。
	T3 おばあさんに本当のことが言えずにごまかそうとする「私」の気持ちを理解できますか。(3分) *「私」の気持ちを理解することを受容的に受け止め、人間は誰にでも弱さがあることを確認する。	ポイント2の② 良心の呵責を感じる「私」の気持ちへの共感を促し、人間の弱さの理解を図る。
展開 (40分)	T4 「私」がおばあさんに会うこともできず、小さな胸を苦しめていたのは、良心に背いたからですね。そんな時、どんなことを考えると思いますか。(3分) S2 ・後悔する経験を忘れ去りたい。 ・過去に戻ることはできない。どうしたらいいのだろう。 T5 (後悔の気持ちを取り除くことがむずかしいことを確認した上で)このことについて考えていきましょう。(3分) <b>学習課題：良心に背いた行為をした後、どのように生きていけばよいのだろうか。</b>	ポイント1の② 後悔とどう向き合っていけばよいかについて問題意識を高める。
	T6 実は、「私」は、ずっと後悔の気持ちを持ち続けていたんです。この話の続きを読みます。(2分) (教材の後半部分を読む。ただし、最後の2行目の「いや、…」以降は示さないでおく。)	
	T7 (「私」がおばあさんを訪ねたのは、後悔の気持ちを晴らしたいとの思いからであることを確認した上で)おばあさんが亡くなっていたことで、後悔の気持ちをさらに増えていますね。自分だったら、この後どうしますか。(8分) S3 ・墓参りをして、謝罪や感謝の気持ちを届ける。<自分・誠実> ・おばあさんの家族にお金を返し、謝罪や感謝の気持ちを届ける。<自分・責任><相手・信頼> ・おばあさんのように他の人たちを助けていく。<集団・公共>	問題解決的な学習 解決策を考えさせる中で、道徳的価値について着目させていく。
	T8 (S3が前向きに生きていこうとする行動であることを確認した上で)後悔を晴らそうと前向きに行動することで、その後の気持ちやそれ以降の生活に変化が出ると感じますか。変化が出るとすればどのような変化ですか。(15分) (グループで話し合った後、全体でシェアする)	ポイント2の① 道徳的価値の意義に着目させる話し合う活動を設定する。
	S4 ・後悔の気持ちが薄れ、希望がもてる。<自分・向上心> ・おばあさんへの償いができる喜び。<相手・信頼> ・社会に役立てる喜び。<社会・公共>	ポイント2の② 考えの違いを整理して、道徳的価値のよさを多面的・多角的に理解できるようにする。
	T9 (S4に含まれている道徳的価値の意義を確認した上で)どのように生きていくことがよいのだろうか。(5分) *数名の生徒に発表させ、その中に含まれる内容を取り出して教師が「まとめ」につなげる。 <b>まとめ：いつまでも後悔するのではなく、前向きに生きていけるよう行動する。</b>	
終末 (5分)	T10 この話では、おばあさんの死を知った「私」は、「おばあさんが私にくれた心を、今度は、私が誰かに差し上げなければならない」と思うようにして、人生を歩み出しました。(1分) *教材の最後の場面を提示して、余韻を残して教材を活用した学習を終える。 T11 今日の学習を通して気付いたことや考えたことを書きましょう。(5分) S5 後悔を消し去りたいと思うことは誰にでもあると思う。大切なことは後悔を消し去るために行動することだということを強く感じた。そのことで、その後の気持ちの持ち方が全然違ってくると思う。	